ーションを展開し、農業生産の増強に努力しつゝある時に、農民組合の指導者が、農民の生産意欲を阻害するが如き行為に出でたことは、誠に遺憾千万である。

2、理論的方面

現在労農党の指導精神は、全く左翼（全協）と対立しており、然も左翼理論の正しき事は絶対的にして、其正しき左翼と対立する労農党は存在せしむるは理論上より誤謬なり。

殊に現在の労農党の労働組合、農民組合の「トラスト」なるは、以て之を解消すれば当然左翼に吸収せらるゝに至るべし。

財團法人勞働會大阪支所